

## 福祉 保健福祉課からのお知らせ

問 保健福祉課 国民健康保険係  
☎476-1111(135)

### ◆ジェネリック医薬品で医療費節約！

ジェネリック医薬品（後発医薬品）は、最初に作られたお薬（新薬：先発医薬品）の特許が切れてから作られた薬です。新薬より安価で、新薬と同等の効果を持つ医薬品です。



### ジェネリック医薬品のPOINT

- ①新薬と有効成分が同じなので、同等の効果が得られます。
- ②開発コストが少ないので、新薬より安価です。
- ③これまでに使われたことのある薬なので、安心して利用できます。

### ジェネリック医薬品を利用するときは…

ジェネリック医薬品を処方してもらうには、自分で処方してもらう意思を提示する必要があります。受付時に病院の窓口で、診察券と一緒に『ジェネリック医薬品希望カード』を提出していただくか、口頭でお伝えください。ジェネリック医薬品の処方が可能かどうか、受診時にお医者さんに相談してみましょう。

#### 【注意点】

- ・すべての新薬にジェネリック医薬品があるわけではないので、変更できないこともあります。また、病院によっては扱っていないところもあります。
- ・薬代が下っても、自己負担額が新薬使用時と変わらない場合もあります。
- ・お医者さんが使用を認めない場合は、切り替えることができません。



### その他に医療費を節約するには？

#### その①『早朝・夜間の受診を控える』

早朝・夜間や土曜日の午後も診療時間としている診療所では、診療時間内であっても、8時前や18時以降（土曜日は12時以降）に受診すると割増があります。※薬局も同じです。

#### その②『同じ病気での複数受診を控える』

安易な理由で受診病院を変えると、『初診料』を再度支払ったり、すでに受けた検査も繰り返し受けたりすることにもなります。また、同じ薬を処方される可能性もあります。

### 大崎町の医療費

区分	診療年月	国民健康保険		
		一般分	退職者分	合計
被保険者数	平成27年2月	4,176人	196人	4,372人
	平成26年2月	4,326人	216人	4,542人
医療費総額	平成27年2月	145,247,401円	5,543,784円	150,791,185円
	平成26年2月	126,615,843円	5,940,352円	132,556,195円

区分	診療年月	一般被保険者分	退職被保険者分	全被保険者分
一人当たり医療費	平成27年2月	34,781円	28,285円	34,490円
	平成26年2月	29,269円	27,502円	29,185円